

小規模多機能型居宅介護のご案内

知ってますか?



私がいなきゃ。

まだまだ死ねない



野菜づくりは 誰にも負けない。

温泉大好き!

まだまだ 子どもたちのことが心配

でも …。

このままではもう 家では暮らせない...。

出かけたい・・・ でも・・・

ひとりでお風呂に 入るのが怖い

死にたい・・・



介護が必要になったら 家族に迷惑かける・・・ 家族に

ひとりぼっち

ばかにしないで、、、。 私は子どもじゃない。 _____

あきらめ

その 1

「思い」や「願い」を大切にします

~可能な限り在宅で暮らすことを支えます~

その 2

自宅に24時間・365日の安心を届けます



全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会のご案内

「小規模多機能型居宅介護」 の

良質なケアを目指して

住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを実現するために、利用者や家族、地域住民、福祉・保健・医療と連携のもと、切れ目なく在宅支援を行い「誰もが地域でその人らしく普通に暮らせる」地域社会の実現に寄与することを目的に活動しています。

しょうきぼどっとねっと

Shoukibo.Net

http://www.shoukibo.net

ホームページをぜひご活用ください。

〒105-0013 東京都港区浜松町1-19-9 井口ビル3階 TEL.03-6430-7916 FAX.03-6430-7918 E-mail info@shoukibo.net

※このパンフレットは、厚生労働省の平成20年度老人保健健康増進等事業により作成したものです。

しかし、小規模多機能ホーム△△さんと出会い、 私の気持ちが変わりました。これまで自分一人で抱 えていたものが、きつい時はいつでも甘えられる、 一人で悩まなくていいと思えるようになりました。

サービスを使うようになって2年。母だけでなく、 私自身も支えてもらっているので親子でサービスを 受けているような感じです。もちろん今でも一晩中 寝なかったり、色々あります。

けれど、母が認知症になったから他の人以上に 親孝行できると思えるようになり、私もお陰様で ちょっと成長しました。

「今日も一緒に我が家でご飯が食べれた」と、 いつも感謝しています。

私は30年以上、郵便局員として真面目に働いて きました。定年後も、民生委員として地域のため に病気ひとつせず元気に走り回ってきました。

それが突然、昨年の春、脳梗塞で倒れ、右の 手足が不自由になり、一人ではトイレにも行け なくなってしまい、その時は、人に会うのも嫌に なり、死んだ方がましだとも思いました。

昨年暮れより、役場の人の紹介で小規模多機能 ホーム○○を利用しています。

スタッフの方もとても親切にしてくれるし、 話相手もできました。私の体調に合わせて、 お迎の時間や訪問の時間・内容を考えてくれ るのでありがたいです。無理しないで毎日が過 ごせるので、気持ちもかなり前向きになってき ました。





S.T さん

小規模多機能型居宅介護事業所からのお願い

小規模多機能型居宅介護は、介護保険サービスのひとつです。

なんでもできるわけではありません。

料金は、サービスの量に関わらず、定額制(月額)です。

よって、みなさんが必要以上に多く利用しようとすれば、このサービスは成り立ちません。 本当に必要なものを必要に応じて提供します。

必要であれば、毎日通うこともでき、宿泊することもできます。

利用者、家族・介護者、地域のみなさんのご理解とご協力をお願いします。

一緒に暮らしたい

一緒に暮らしたい

優しい母と いつまでも 一緒にいたい。

見守りがあるから安心



いつでも 相談できる場所がある。

おばあちゃんに 「ありがとう」って 言われると嬉しい。

認知症にならなかったら こんな親孝行できなかった。

でも…。

もう限界...。

いつまでこんな 生活が続くんだろう? もうこれ以上できない・・・

私の気持ちを わかってくれる人が いない・・・

おばあちゃんのせいで 私の生活はもう でちゃぐちゃ…



夜が眠れない

気づいたら うんこ、おしっこまみれ

何を言えば、 わかってもらえるか わからない

はいで!



特長

3

介護の「困った!」にお応えします

~「通い」「宿泊」「訪問」を使って柔軟に支える~

1

地域のみんなで考えます

Q.費用はどのくらいかかるの?

※利用料は、1か月単位の定額制です。サービス費用の1割を負担することになります。

※ご自宅にお住まいでサービスを利用する場合は(1)の料金、事業所と同一建物(養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅に限る)に居住して利用する場合は(2)の料金体系になります。

1か月あたりの費用の目安

	要介護度	介護保険費用 (単位数×10円)	自己負担 (左記の一割)	
(1)同一建物に居住してない(自宅等) 場合のサービス利用	要支援1	34,030円 68,770円	3,403円 6,877円	
	要介護 1 要介護 2 要介護 3 要介護 4	103,200円 151,670円 220,620円 243,500円	10,320円 15,167円 22,062円 24,350円	
	要介護5	268,490円	3,066円	
(2)事業所と同一建物に居住して	要支援2要介護1	61,960円 92,980円 136,650円	6,196円 9,298円 13,665円	

サービスを利用する場合

要支援1 30,660円 3,066円 要支援2 61,960円 6,196円 92,980円 9,298円 9,298円 93,665円 13,665円 198,780円 19,878円 21,939円 21,939円 要介護5 241,910円 24,191円

※1単位=10円で計算(東京23区や政令指定都市等では1単位あたりの単価が異なります)

→ 各種加算

※該当する場合のみ

事業所によっては、「訪問体制強化加算/1か月あたり」「認知症加算/1か月あたり」「サービス提供体制加算/1か月あたり」「看護職員配置加算/1か月あたり」「看取り連携体制加算/1日あたり」など各種加算が加味される場合があります。詳細については、各事業所にお問い合わせください。







また、食費(食材料費、調理費)、宿泊費、日常生活費などが利用者負担となっています。 詳細については、各事業所にお問い合わせください。

誰もが年をとっても介護が必要になっても、住み慣れた自宅や地域の中で家族や親しい 人たちとともに、最期までその人らしい人生を送りたいと望んでいます。

「思い」や「願い」を大切にします

~可能な限り在宅で暮らすことを支えます~

小規模多機能型居宅介護は、そうした在宅での生活を送り続けたいという高齢者や家族の願いに応えます。

○○したいの実現

持っている力の活用

生活の継続性

本当は誰もが望んでいる生活

自宅では 私が主人公

自分で立てた スケジュールに沿って 日常生活を営む



「尊厳ある生活」

日常生活における 自由な自己決定の 積み重ね

自宅の良さ

介護が必要となったときでも、介護のために 自分の生活や自由を犠牲にすることなく、 自分らしい生活を続けることができる。

この願いを実現するために

「小規模多機能型居宅介護」

が

平成18年4月に介護保険の 地域密着型サービスのひとつとして制度化されました。

MEMO

の 1

そのっ

そのつ

その

ご利用にあたって

ご利用にあたって

A&Q

Q.事業所はどこにあるの?

いつでも身近で利用できるよう、生活圏域ごとに行き渡るよう整備を進めています。 最寄りの事業所は、市町村の担当窓口、地域包括支援センターなどにお問い合わせください。 ◎ホームページからも検索できます。(ワムネット http://www.wam.go.jp/)

Q.利用手続きは?

※利用するには、要介護認定が必要です(事業所によっては、要支援の方は利用できない場合があります)。

相談する

事業所に行ってみる



最寄りの小規模多機能型居宅介護事業所 市町村の担当窓口 地域包括支援センター 居宅介護支援事業所のケアマネジャー 医療機関の相談窓口



など



説明を聞いてみましょう!

事業所の雰囲気 スタッフの対応 お年寄りの表情 居心地がいいか

※事業所によって特徴があります

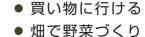
納得したら契約



地域密着型サービスのため、 ご利用はお住まいの市町村にある 事業所となります。



持っている力の活用



- 若い人に料理を教える
- お客さんにお茶を入れる
- 着たい洋服を選ぶ





生活の継続性



- 友達と将棋をしたい
- 家族と旅行したい

○○したいの実現

- お刺身が食べたい
- 孫と遊びたい
- 晩酌前に風呂に入りたい
- 朝はゆっくり起きて、お茶でも飲んでから・・・
- 行きつけの美容院に髪を切りに行く
- ご近所の○○さんちへ遊びにいく
- 大好きな盆栽の手入れをする



リラックス

smile

[安心]







- ●食事や排泄、入浴ができなくなって困る
- 家族:体がぼろぼろ、もう少し楽をしたい
- ●本人:家族に迷惑をかけたくない
- トイレ、食事、外出など、できないことの手助け
- けがをしないような見守り

介護の安心

一人ひとりに合った支援をしていくには、お年寄りの本当の思いや望みをくみ取ることが大切だと考 えています。一人ひとりに寄り添い、時間をかけて丁寧に支援していきます。介護が必要になっても、 安心できる環境の中で、これまで築き上げてきた家族や地域社会との関係を断ち切ることなく暮らし 続けることを大切にします。





小規模多機能型居宅介護は、施設の在宅版のようなサービスです。施設の居室を自宅と捉え、廊下は道。施設の職員が居室にお邪魔するように自宅に訪問したり、日中のつどいの場として食堂へ集まるように事業所に通います。「通い」や「宿泊」「訪問」といったあらゆる機能を使って、自宅での生活を支えていきます。

サービス概要

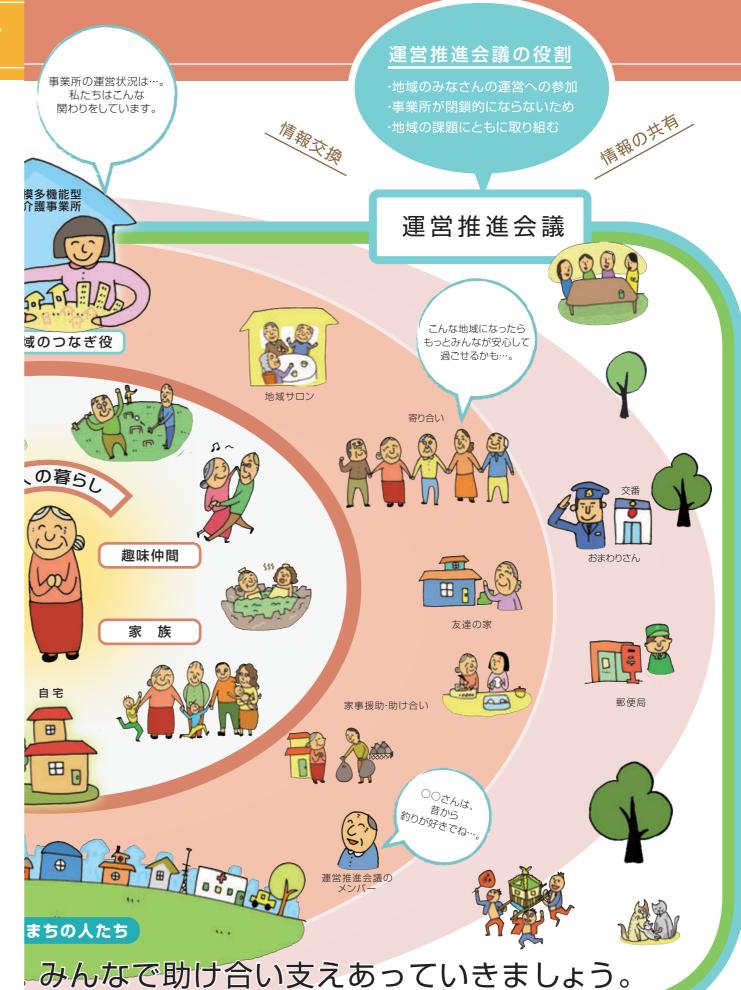
で本人の様態や希望に応じて、「通い」「宿泊」「訪問」といったサービスを組み合わせて、「自宅で継続して生活するために」必要な支援をしていきます。

- 「通い」で顔なじみになった職員が「宿泊」や「訪問」の際にも対応します。
- ○環境の変化に敏感なお年寄り(特に、認知症の方)の不安を和らげることができます。

だから

ご家族も安心して ご利用いただけます。

ご本人やご家族の些細な変化に 気づくことができます。 状況を把握している職員が対応 するので、いざというとき 心強い味方です。



その1

その

その3

その

利用にあたって



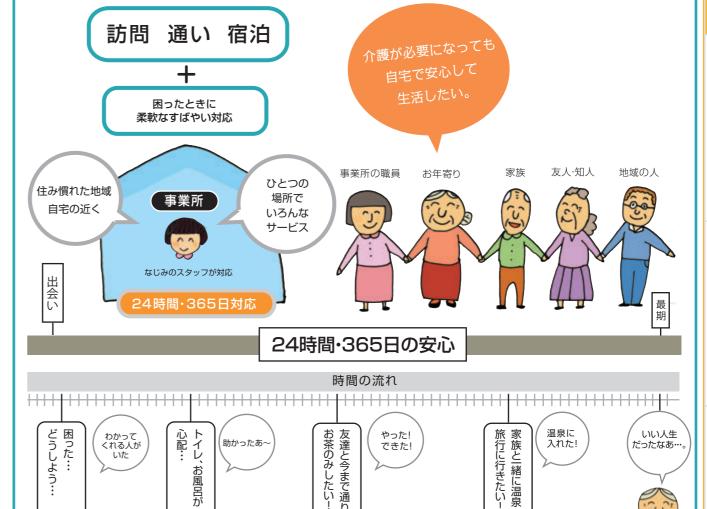


これからの地域は、一人ひとりが主人公です。

地域のみんなで考えます



その人らしい「生き方」「暮らし方」の実現



「暮らし」を支えるということは、24時間・365日、切れ目のない支援を「安心」とともに届けるということです。 「その人らしい暮らし」を実現するためには、お年寄りのことを良く知っている家族やご近所さん、友人の方などと 一緒に、地域の中で、継続的な支援を考えていきます。

0

55, 2

気になるが

家に行って

様ろみてみよう

どうしたの

ですか?

あねがいしま

世良さん

なんだか

具合が恵25

だったなる

いろんな困ったに対して小規模多機能型居宅介護では、「通い」「宿泊」「訪問」を使って柔軟に支えます。

小規模多機能型居宅介護における 「通い」「宿泊」「訪問」

小規模多機能型居宅介護では、「通い」「宿泊」「訪問」と いった各サービスの内容は細かく定められてはいません。 一人ひとりの暮らしが異なるように、支援の内容も異なり

現在の制度では、「通い」を中心に生活を支える仕組みに なっています。生活や暮らし全体を通しての流れの中で 困っていることは何か、自宅での暮らしを成り立たせるた めに必要なことは何かを見極め、柔軟に支援していきます。

一人ひとりの思いやこれまでの 生活スタイルに合わせた支援や 時間の過ごし方。

■日常生活支援(身体介護、生活介助など)

- ▮仲間づくりの場として
- ┃いろいろな人と交わる場として
- 【生きがいづくりの場として

例えば、朝から夕方まで滞在するのではなく、 その人が必要としているお風呂だけ、食事だけ といったほんの数時間の利用という使い方も あります。

通いが基本

考えてい 安心できる 居場所として いきま しい い暮らし

◆生活支援

◆見守り

集える 場所として

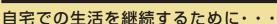
小規模多機能型

居宅介護事業所

◆身体介護(食事、排泄、入浴など)

24時間·365日 頼れる存在 として

介護の 「困った!」にお応えします



介護が必要になる前は どんな暮らしをしていましたか?



私が主人公

の暮らし

◆相談

佰汨

◆家族や地域とのつなぎ役 誰かがかならず そこにいる安心感

訪問

似ているようで違う小規模多機能型居宅介護のサービス

「訪問」

られる

自宅での過ごし方と落差がないように。

「通い」を利用している方が、これからも家で 生活することを重点におき、なるべく自宅で の過ごし方と落差がないように支援していき ます。その時々の様態に合わせて緊急時にも 対応します。

家族が病気になったとき・・・すぐに利用できる

回数も支援する内容もひとそれぞれ...。

「通い | だけでは支えきれない時間帯やさまざ まな支援を、その延長線上として、その人の 「暮らしぶり」に合わせて支援していきます。

夜中に「おじいちゃんがベッドから落ちた!」 電話一本でかけつけます!



- ・一人ひとりに合わせて時間も曜日も オーダーメイド
- ・必要なこと、必要な時間に利用できる ・緊急時にも臨機応変に対応

「デイサービス(通所介護)」

- ・施設の利用時間に合わせて
- あらかじめ決まっているプログラムに
- ・みんなと同じ一日の過ごし方
- ·流れがひとつのパッケージになっている

「宿泊」

- ・本当に必要な時には利用できる
- ・通い慣れた場所で宿泊可能
- ・顔なじみの職員や利用者と共に泊まれる ・突然の泊まりに対応

「ショートステイ(短期入所生活介護)」

- ・事前に利用したい日を予約して利用
- •利用したい日が空いていないと他の施設 を予約し、日程変更が必要。
- ・本人や介護者の状況の変化に対応しにくい

・緊急時にも柔軟に対応

- 「ホームヘルプ(訪問介護)」
- ・30分未満や1時間など、サービスの枠に 合わせた利用時間

・回数も時間も内容も一人ひとり異なる

必要なときに必要なだけサービスが受け

- ・規定のサービス枠に合わせた支援内容
- ケアマネジャーの決めた通り

の

利